

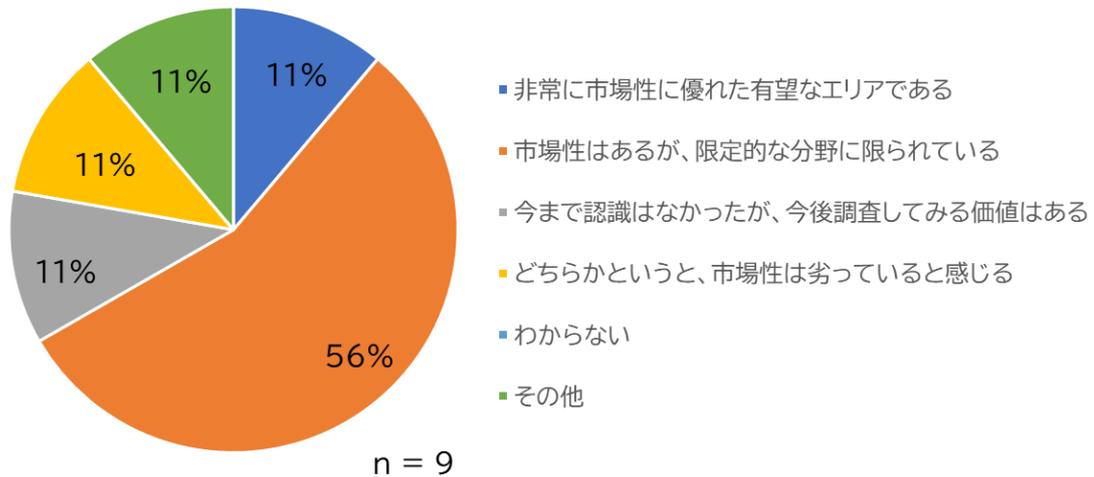
市民会館跡地等の活用に伴うエリア価値向上 に関する意向調査の結果について

調査結果

1. 事業への関心の有無について

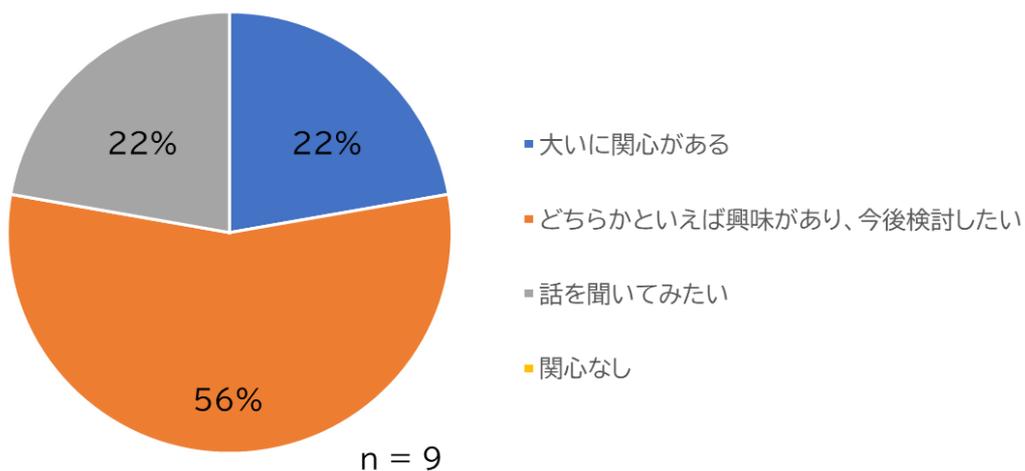
(1) 事業地の市場性

- ・立地や周辺環境（小田原城、三の丸ホール等）、曜日や時間帯より、限定的な分野ではあるが、「市場性はある」という回答が多くあった。



(2) 事業地への参画意向

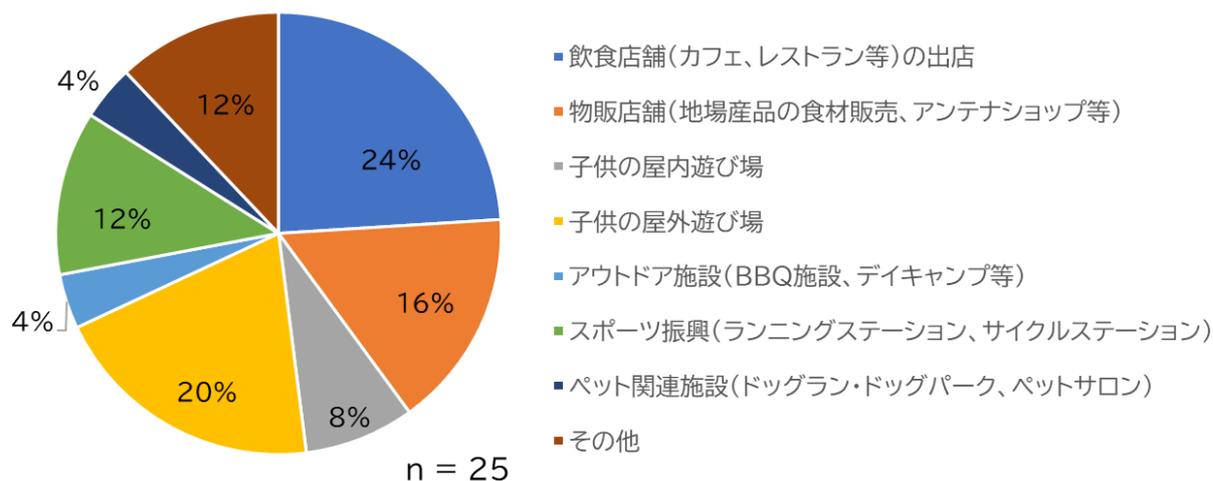
- ・周辺には公共施設や観光、歴史などの多様な地域資源があり、公民連携を図ることで活性化に寄与する可能性があるという意見が挙げられるなど、「関心がある」事業者が大半を占め、導入機能や役割分担により事業参画が期待できた。



2. 提案する事業内容について

(1) 事業地を活用した導入機能や民間アイデア（収益機能）

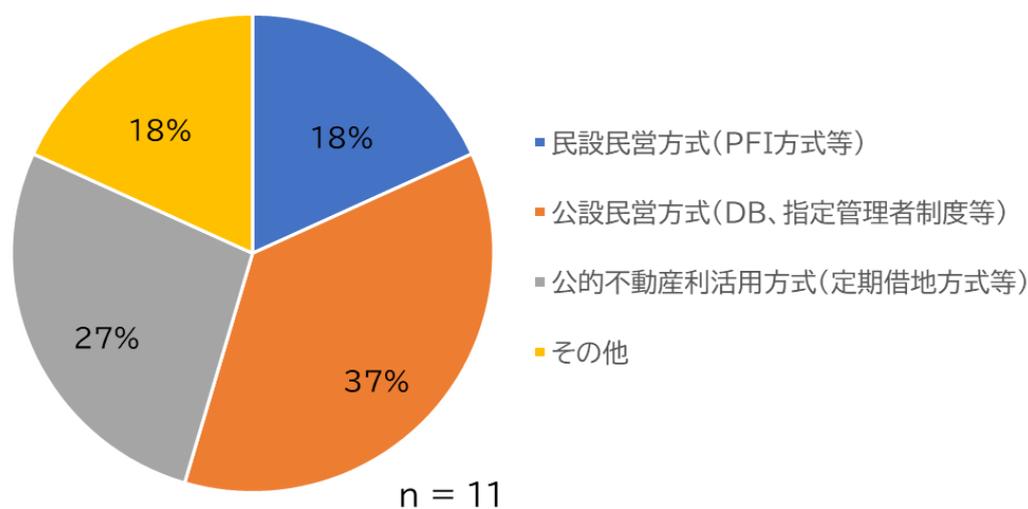
- ・「まちのリビング」というコンセプトに共感を得られた。
- ・広場空間と親和性がある飲食店や、子供の屋外遊び場の提案が多く見受けられた。
- ・活用計画に位置付けられた駐車場の位置の変更を望む事業者は少なかった。



3. 事業スキーム

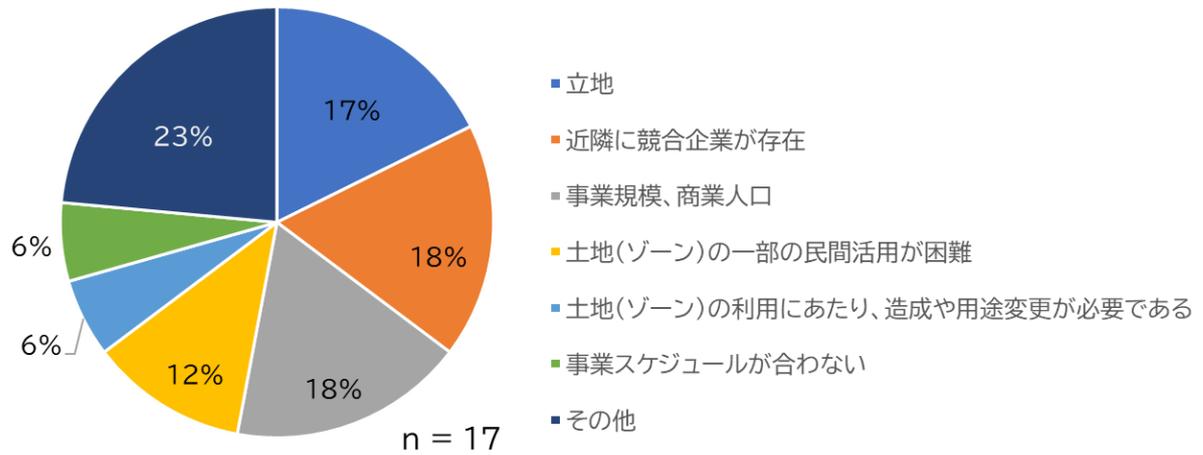
(1) 事業手法

- ・収益が見込める機能については事業者負担（民設民営/公的不動産利活用）、公共的な機能（収益性が低い広場等）については、公共負担（公設民営）の希望があった。
- ・また、特定用途の運営のみを希望する事業者もいた。



(2) 制約条件・(3) 公民の役割分担

- ・立地、近隣の競合企業、事業規模・商業人口等、市場性に関連する制約条件への懸念が挙げられた。
- ・土地の賃借料（「小田原市財産規則」に基づく）や公共空間における管理・運営についての意見が挙げられた。



以上